

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	音楽					授業形態	講義		
科目コード	750086	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								
授業概要	<p>この授業の目的は、幼児教育および初等教育において音楽指導を行うための基礎的な理論と技能を身につけることである。子どもたちが音楽表現の楽しさに気づき、音楽経験の生活へ与える潤いを知り、聴く力を伸ばすことは重要な要素である。子どもたちの音楽に対する興味と能力を育てるため、授業では「楽典」を通して楽譜の読み方を習得し、「ソルフェージュ」によって読譜・視唱等の基礎技能を養うとともに、歌唱共通教材を中心とした「歌唱活動」を通して基礎的な歌唱法を身につける。楽典・ソルフェージュ(早川)と歌唱(東)の授業は隔週で交互に行われる。</p>								
関連する科目	履修後は「音楽演習A」および「音楽演習B」を受講し、ピアノ実技の基礎力を身につけ、鍵盤奏に習熟することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>楽典・ソルフェージュ(早川)と歌唱(東)の授業は隔週で交互に行われるが、それぞれの授業は下記のとおり進められる。 【楽典・ソルフェージュ】前半は楽譜の読み方についてテキストを用いて学習し、後半は配布資料を使ってソルフェージュの実践を行う。 【歌唱】歌唱共通教材を用いてグループごと、または一人ずつでの歌唱指導が行われる。終盤ではグループでの自主学習も行う。</p>								
授業計画 【第1回】	【楽典・ソルフェージュ】 譜表と音名・クレ読み、新曲視唱								
授業計画 【第2回】	【歌唱】 第1学年 歌唱共通教材								
授業計画 【第3回】	【楽典・ソルフェージュ】 音符と休符・クレ読み、新曲視唱								
授業計画 【第4回】	【歌唱】 第2学年 歌唱共通教材								
授業計画 【第5回】	【楽典・ソルフェージュ】 拍子とリズム・クレ読み、リズム打ち								
授業計画 【第6回】	【歌唱】 第3学年 歌唱共通教材								
授業計画 【第7回】	【楽典・ソルフェージュ】 音程・クレ読み、新曲視唱								
授業計画 【第8回】	【歌唱】 第4学年 歌唱共通教材								
授業計画 【第9回】	【楽典・ソルフェージュ】 音階と調・クレ読み、新曲視唱								
授業計画 【第10回】	【歌唱】 第5学年 歌唱共通教材								
授業計画 【第11回】	【楽典・ソルフェージュ】 省略記号・クレ読み、聴音								

授業計画 【第12回】	【歌唱】第6学年 歌唱共通教材
授業計画 【第13回】	【楽典・ソルフェージュ】クレ読み試験
授業計画 【第14回】	【歌唱】歌唱共通教材復習および「君が代」
授業計画 【第15回】	【歌唱】歌唱実技試験
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽典の習得により、読譜や記譜に必要な音楽の諸要素を理解する。 2. ソルフェージュの実践により、読譜力を向上させる。 3. 小学校の歌唱共通教材を正確に演奏し、正しい発声と明瞭な発音による歌唱技術の基礎を習得する。 *上記の各領域ごとに試験を課す。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	楽典では、テキストの他、図書やインターネットを活用して事前学習を行うこと。 ソルフェージュにおけるクレ読み(首名を一定のテンポで読み上げる練習)は読譜力を身につけるため、毎日数分でも練習すること。 発声練習も日々欠かさないことが大切である。
授業時間外の学修 【復習】	ソルフェージュにおけるクレ読みは、毎日数分でも実践し、発声練習も日常的に行う。 楽典では、特に「音程」「調」に関しては十分な復習を必要とする。
課題に対する フィードバック	テストや課題は、評価後に返却および解説をします。
評価方法・基準	受講態度：30%、クレ読み試験：10%、歌唱実技試験：30%、楽典試験：30%
テキスト	全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『保育士・幼稚園教諭・小学校教諭養成のための ピアノテキスト—楽典・身体表現教材 付』 (カワイ出版)
参考書	初等科音楽教育研究会 『最新 初等科音楽教育法[改訂版] 小学校教員養成課程用』(音楽之友社)
備考	